

# 土壌汚染調査減少も

## 担保評価数減らず

ランドソリューション調査

土壌汚染調査・対策が減少傾向にある中、担保評価件数は減っていない。

土壌汚染リスクを

ヘッジし、土地の有効活用・流動化に関する事業を展開するランドソリューション（東京都港区

03・5412・670

0）は、金融機関による対象物件の土壌汚染リスクに関する担保評価について汚染リスク定量化システムによるサポートを行っているが、不動産不景気の中でも担保評価については、2007年度と08年度いずれも1万4

千件と担保評価件数は推移し、今年度も1万4200件が見込まれるとしている。

不動産不況に端を発し、不動産取引に伴う土壌汚染調査・対策が急減している中、注目される傾向だ。

同社は、汚染格付スコアリングシステムやCBR（事例ベース推論）による汚染リスク簡易算出システムなど簡易評価、概算浄化コスト算定システムなど詳細評価など4種類の独自の汚染リスク定量化システムを開発、保有しており、金融や不動産業界の信頼を集めている。

同社は、汚染格付スコアリングシステムやCBR（事例ベース推論）による汚染リスク簡易算出システムなど簡易評価、概算浄化コスト算定システムなど詳細評価など4種類の独自の汚染リスク定量化システムを開発、保有しており、金融や不動産業界の信頼を集めている。